



野月ひさ子  
Nozuki Hisako

### あなたの職業は何ですか？

エディトリアルオフィスを標榜する事務所主宰。新聞・雑誌・書籍など出版物の編集デザインのほか、セールスプロモーション企画、アカウントプランニングなど多岐多彩。地場産品を網羅したギフトカタログや周年事業の記念品づくりも楽しい仕事の一つ。ま、一言でくると、プランナーでしょうか。

### 「青森のデザイン」で印象に残っているものはなんですか？

いつも感動するのは、青森の自然のパノラマ。四季折々表情を変えるそれらは、「青森のデザイン」そのもの。特に寝そべて青空を仰ぎ、流れる雲を追い続けているとデザインの形が見えてくるから不思議。青森の先人たちのデザインを見るにつけ、自然がはぐくむデザイン力を感じます。

### これからの「青森のデザイン」について思うことを教えてください。

生まれつきの姿かたちは整形でもしない限り何ともならぬものですが、身にまとう衣服、髪型、きわだつ表情、姿勢等で、内面の輝きを表現できると考えています。

企業も人も商品も、どうせなら良い性格の良い表情を見せてあげたい。地場産品も様々な商品が出ていますが、そこならではの想いを伝える、そんな「青森のデザイン」を考え続けたいものです。

野月 ひさ子

1949年弘前市生まれ。東京の短大卒業後、地元青森放送のアナウンサー（ラジオパーソナリティ・報道記者・番組制作を含め）として8年勤務。結婚で退職後（そんな時代だったよ）ミニコミ誌の世界で編集を覚える。フリー編集者を経て昭和61年らいつ立ち上げ。平成元年有限会社に改組現在に至る。あおもりNPOサポートセンター副理事長として復興支援や人材育成事業などにも参加している。

有限会社らいず  
〒030-0965 青森市松森3丁目-18  
TEL.017-743-8431 FAX.017-743-8430  
URL <http://www.aomori-rise.net/>  
e-mail [nozuki@aomori-rise.net](mailto:nozuki@aomori-rise.net)



01



02



03



04



05



06

- 01 個人の出版物
- 02 様々な雑誌も
- 03 地場の創出技術を活用しての記念品づくり
- 04 ADAの自己ページで昔を振り返る

- 05 地銀ポスター
- 06 地銀広報誌